

地域いきいき健康マップ

南郷・大石
地区

produced by 大津市スポーツ推進委員協議会



1 南郷小学校桜並木



南郷学区には桜が見事に咲く場所は数々あるが、とりわけ見事なのが、南郷小学校へ続く桜の大木の並木道。春には子ども達の入学を祝うがごとく見事な桜のトンネルを作る。

2 瀬田川洗堰



琵琶湖から流れ出す瀬田川は、昔から川幅も狭く、水深が浅いため、琵琶湖の水かさが高くなると湖周辺は浸水し、大きな被害を被ってきた。1896年の琵琶湖大洪水を契機にして、瀬田川の川底を掘り、川幅を広げる工事を行い、1905年には旧洗堰が完成。水害は大きく減った。旧洗堰は人力で操作し時間がかかったため、1961年に電動式の瀬田川洗堰に造りかえられた。

3 二葉屋

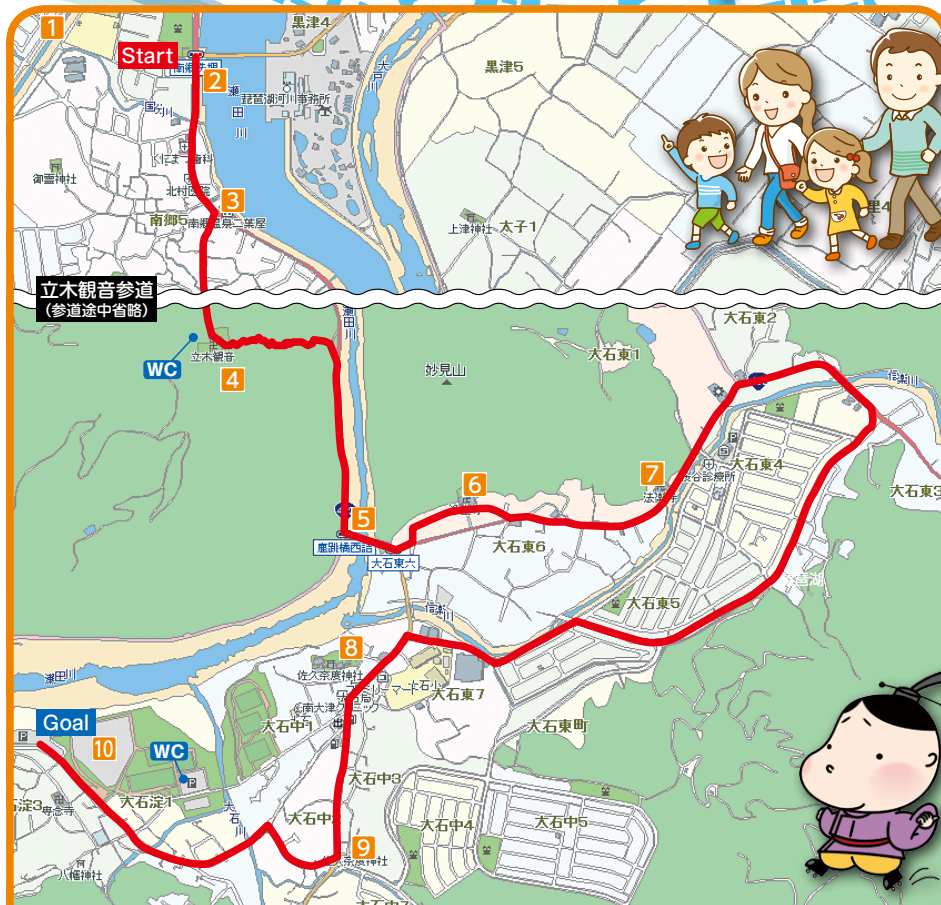


清流・瀬田川を望む純和風の料理旅館。四季折々の豊かな瀬田川の風景を間近に楽しむことができる。岩間寺山中から湧き出る南郷温泉を用いた展望風呂から望む南郷洗堰や一面瀬田川の美しい景色が旅情を誘う。

4 立木観音



瀬田川にある鹿跳渓谷のほとり、約800段の石段を登ったところにある立木観音。弘仁6年(815年)、弘法大師(こうぼうだいし)が42歳の厄年に、白い雄鹿に導かれ、光る立木の霊木に等身大の観音像を刻み建立した寺といわれ、厄除けの観音様として広く親しまれている。



Start: 南郷公園 Goal: 大石緑地スポーツ村
距離: 約9km 目安消費カロリー: 380kcal/50kg・490kcal/65kg

5 鹿跳橋



平安時代初め、弘法大師が42歳の厄年に、立木山の山腹に光を放つ霊木を見つけ、白い雄鹿の背に乗って急流を跳び渡り、その霊木を立ち木のまま彫刻し観音さまをつかったことから、その後立木さんの呼び名で厄除け観音として親しまれ、大石と石山(南郷)を結ぶ橋、鹿跳橋の由来となっている。

6 浄土寺



古く藤原鎌足に発し、応仁の乱で断絶した大石家が再興した大石家発祥の地で、大石久右衛門の屋敷跡でもある。この久右衛門の次男、良勝が分家し代々浅野家に仕えることとなった。大石家の菩提寺として本堂には、大石家の守本尊、そして四十七士の位牌が安置されている。

7 法楽寺



東町にある法楽寺は、重要文化財指定の薬師如来を本尊としている。当寺の勧進帳の序によれば、慈覚大師が創立し、本尊も大師みずからの手によるもので、貞享3年には、僧澄養が諸地方を勧進して本堂を再建している。

8 佐久奈度神社



天智天皇の命により創建、瀬織津姫命・速秋津姫命・気吹戸主命・速佐須良姫命の四神を祀る。皇室や武家の崇敬厚く、討ち入りで有名な大石内蔵助良雄の先祖・良勝もここに絵馬を奉納している。古来、伊勢参りの前にはここでお祓を受けるという格式高い神社でもある。

9 若王寺



中町の若王寺は、767年佐久奈度神社の別当寺として大日如来を本尊として建立された。その後、平乱のため退転するが1518年中興され浄土宗となった。本堂には重要文化財の弥勒菩薩像があり、境内には永正十年五月三日銘入りの念仏の角塔婆一基がある。

10 大石緑地スポーツ村



清流のほとり、フィットネスリゾートゾーン。テニスコート20面、グラウンド1面、クラブハウスがある。多目的グラウンドでは、野球やサッカーなども楽しみ、各種大会が開催されている。問い合わせ先…TEL.077-546-6369

